



みなみこ がくしゅう

南っ子 学習のきまり



1. 2年生



わすれものゼロ

- ・つぎの日のじゅんぴは、まえの日にしましょう。
- ・わすれものがないか、おうちの人にたしかめてもらいましょう。



ふでばこのなかみ

- けずったえんぴつ 5本
 - 赤・青えんぴつ
 - 白いけしゴム 1こ
 - 名前ペン
 - とうめいのじょうぎ
- ※学しゅうにつかわないものはもってきません。



かてい学しゅう

- プリント 1まい
- かん字のれんしゅう か 計算の学しゅう (1年生は2がっきから)
- 音どく (週末は読書)
- につき

※そのほかに出されることもあります。

学しゅう時間の目安

【1年生】20分 【2年生】30分



休み時間

- ・つぎのじかんのじゅんぴをして、トイレをすませましょう。
- ・チャイムの1分前には、せきにつきましょう。
- ・ノートに下じきをはさみ、日づけを書いておきましょう。



正しいしせい・正しいもちかたでていねいに

- ・「ゲー・ペタ・ピン」「ズン・ペタ・ピン」
- ・正しいえんぴつのもちかたで、ていねいに書きましょう。



書写教科書(東京書籍)より



へんじ・手のあげかた

- ・みじかく「はいっ！」
- ・うでを耳のよこにつけて、ゆびさきまでピンとのばしましょう。



きょうかしょのもちかた

- ・せずじをのばして、りょう手でもちましょう。



はなすとき・きくとき

- ・きく人のほうを見てはなしましょう。
- ・きく人につたえようという気もちではなしましょう。
- ・さいごまで3の声ではっきりはなしましょう。
- ・はなす人のほうにおへそをむけてききましょう。



タブレットのつかいかた

- ・やくそくをまもって、たいせつにつかきましょう。
- ・せんせいやともだちがはなしているときはさわりません。





南っ子 学習のきまり



3. 4年生



わすれ物ゼロ

・次の日のじゅんぴは、前日にしましょう。



筆ばこの中身

- けずったえんぴつ5～6本
- よく消える消しゴム1こ
- とう明のじょうぎ
- 赤・青えんぴつ（4年生はペンもよい）
- 名前ペン
- けい光ペン1本

※学しゅうにつかわないものはもってきません。



家庭学習

- プリント1枚
- 音読（週末は読書）
- 漢字ノート か 計算の学習
- 自学ノート1ページ（3年生は2学期から週末だけ）

※その他に出されることもあります。

学習時間の目安

【3年生】40分 【4年生】50分



休み時間

- ・次の時間のじゅんぴをして、トイレをすませましょう。
- ・チャイムの1分前には席について、静かにしておきましょう。
- ・ノートに下じきをはさみ、日付けを書いておきましょう。



正しいしせい・正しい持ち方でていねいに

- ・「グー・ペタ・ピン」「ズン・ペタ・ピン」
- ・正しいえんぴつの持ち方で、ていねいに書きましょう。



返事・手のあげ方

- ・短く「はいっ！」
- ・うでを耳の横に付けて、指先までピンとのばしましょう。



教科書の持ち方

- ・せすじをのばして、両手で持ちましょう。



話すとき・きくとき

- ・聞き手を見て話しましょう。
- ・聞く人に伝えることを意きして話しましょう。
- ・聞き手の反応をたしかめながら、最後まで3の声ではっきり話しましょう。
- ・話す人の方に体を向けて、反応しながら聞きましょう。



タブレットの使い方

- ・やくそくを守って、大切に使いましょう。
- ・先生や友達が話しているときは、さわりません。





南っ子 学習のきまり



5. 6年生



忘れ物ゼロ

・次の日の準備は、前日にしましょう。



筆箱の中身

■けずった鉛筆5～6本 ■よく消える消しゴム1こ ■透明の定規
■赤・青えんぴつ(ペン) ■名前ペン ■蛍光ペン1本まで

※引き出しに入る大きさの筆箱にしましょう。学習に必要な物は持ってきません。



家庭学習

■プリント1枚 ■音読(週末は読書)
■漢字ノート か 算数の力 ■自学ノート1ページ

※その他に出されることもあります。

学習時間の目安

【5年生】60分 【6年生】70分



休み時間

・次の時間の準備をして、トイレを済ませましょう。
・チャイムの1分前には席に着いて、予習や復習をしておきましょう。
・ノートに下じきをはさみ、日付けを書いておきましょう。



正しい姿勢・正しい持ち方でていねいに

・「グー・ペタ・ピン」「ズン・ペタ・ピン」
・正しい鉛筆の持ち方で、ていねいに書きましょう。



返事・手のあげ方

・静かに手を挙げ、指名されたら「はいっ!」と返事をしましょう。
・うでを耳の横に付けて、指先までピンと伸ばしましょう。



教科書の持ち方

・背筋を伸ばして、両手で持ちましょう。
(片手で持って、もう一方の手は添えてもいいです。)



話すとき・聞くとき

・聞き手に伝えることを意識して話しましょう。
・聞き手に伝わるように、立ち位置を工夫して話しましょう。
・聞き手の反応を確認しながら、最後まで3の声ではっきり話しましょう。
・話す人の方に体を向けて、自分の考えと比べ、反応しながら聞きましょう。



タブレットの使い方

・学習を便利にするために使いましょう。
・先生の指示があるときに使いましょう。

